

気候情報

2012年3月の日本の天候

- 東・西日本で寒暖の変動が大きかった
- 上旬は東日本太平洋側で記録的に日照時間が少なかった
- 北日本は4か月連続で低温

3月の天気概況

上旬は本州の南岸沿いを通過した低気圧や前線の影響により、北日本から西日本にかけての太平洋側を中心に全国的に曇りや雨または雪の日が多く、特に東日本太平洋側では記録的な寡照となり、3月上旬としては、統計を開始した1961年以降最も日照時間の少ない値を更新した。中旬以降は、北日本から西日本にかけて天気は周期的に変化したが、低気圧の通過後に冬型の気圧配置となるなど寒気の影響を受けた日が多かった。このため、北日本から西日本にかけて気温の低い日が多くなり、東・西日本の日本海側を中心に曇りや雨または雪の日が多く、太平洋側を中心に晴れの日が多かった。沖縄・奄美では、中旬まで低気圧や前線または寒気の影響により曇りや雨の日が多く、日照時間が少ない状態が続いた。下旬は高気圧に覆われて晴れた日が続き、昨年10月下旬以降14日ぶりに旬間日照時間が多くなり、旬降水量は3月下旬としては統計を開始した1961年以降最も少ない値を更新した。北日本では、昨年12月以降、4か月連続で月平均気温が低くなった（12～3月としては2001年以降11年ぶり、ただし2001年は11月以降5か月連続）。一方、東・西日本では、月を通して寒暖の変動が大きかった。また、上旬にかなりの高温となるなど暖かい空気に覆われたことが多かった沖縄・奄美では月平均気温が高かった。

上旬：旬のはじめと中頃に移動性高気圧に覆われて広い範囲で晴れた日もあったが、本州の南岸沿いを低気圧や前線が短い周期で通過し、北日本から西日本にかけての太平洋側を中心に曇りや雨または雪の日が多かった。特に東日本太平洋側では、3月上旬としては統計を開始した1961年以降最も日照時間の少ない値を更新した。また、南からの暖かく湿った空気の影響により、東日本以西では気温が高かった。

中旬：天気は周期的に変化したが、旬の前半と終りに冬型の気圧配置となり、北日本から西日本にかけて、寒気の影響を受けて気温が低く、日本海側を中心に曇りや雨または雪となり、太平洋側を中心に晴れた時期があった。沖縄・奄美では、寒気や前線の影響により、曇りや雨の日が多かった。

下旬：天気は短い周期で変化したが、低気圧の通過後は冬型の気圧配置となり、北日本と東日本日本海側

では曇りや雨または雪の日が多く、東日本太平洋側と西日本では晴れの日が多かった。沖縄・奄美では移動性高気圧に覆われて晴れた日が多く、昨年10月下旬以降14日ぶりに旬間日照時間が多くなり、旬降水量は3月下旬としては統計を開始した1961年以降最も少ない値を更新した。また、旬末は日本海から北日本を低気圧が発達しながら通過した影響で、北・東日本太平洋側を中心に、広い範囲で荒れた天気となった。

3月の気候統計

月平均気温：北日本で低く、東・西日本で平年並だった。沖縄・奄美では高かった。

月降水量：東日本日本海側でかなり多く、北・東日本太平洋側、西日本で多かった。北日本日本海側では平年並で、沖縄・奄美では少なかった。

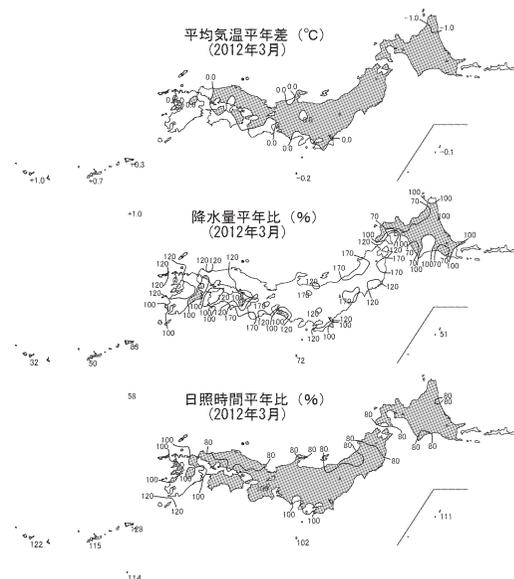
月間日照時間：北日本太平洋側でかなり少なく、北日本日本海側、東・西日本で少なかった。沖縄・奄美では平年並だった。

(気象庁観測部統計室)

3月の記録（1位更新のみ）

- ・月降水量多い方から (mm)
 - 酒田 190.5 福島 147.5 上野 187.5
 - 鳥取 229.5 奈良 180.5
- ・月間日照時間少ない方から (時間)
 - 広尾 134.7 むつ 99.8

2012年3月の平年差 (比) 図



注) 陰影の部分は、平年より低い (少ない) 地域を示す。